

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No.2 \* \*

## — 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部

後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

### すでに適正サイズまで成長，本格的な漁期入りか

#### 調査の概要

2015年4月22～23日に島牧海域においてコウナゴの初漁がありました。今年のコウナゴの初漁は、非常に遅れた昨年（5月15日）よりも早まり、例年なみに戻りました。初漁の漁獲物から採集していただいた標本を測定しましたので、結果をお知らせします。調査にご協力いただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。

#### すでに適正サイズ

上の図が4月10日の漁期前調査の体長組成，下の図が今回の初漁の体長組成です。初漁の漁獲物の主群は体長27～28mmで，漁期前調査で16～19mmだった主群が成長して，すでに漁獲適正サイズ（22mm以上）に達していました。したがって，初漁と同時に本格的な漁期に入ったと考えられます。

今後の盛漁期に向けては，初漁の漁獲物のうち15～20mmの小さい魚が漁獲対象になっていきますが，初漁での漁獲尾数は少なめです。

今後の漁獲量や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと思っておりますので，引き続きご協力をお願いいたします。

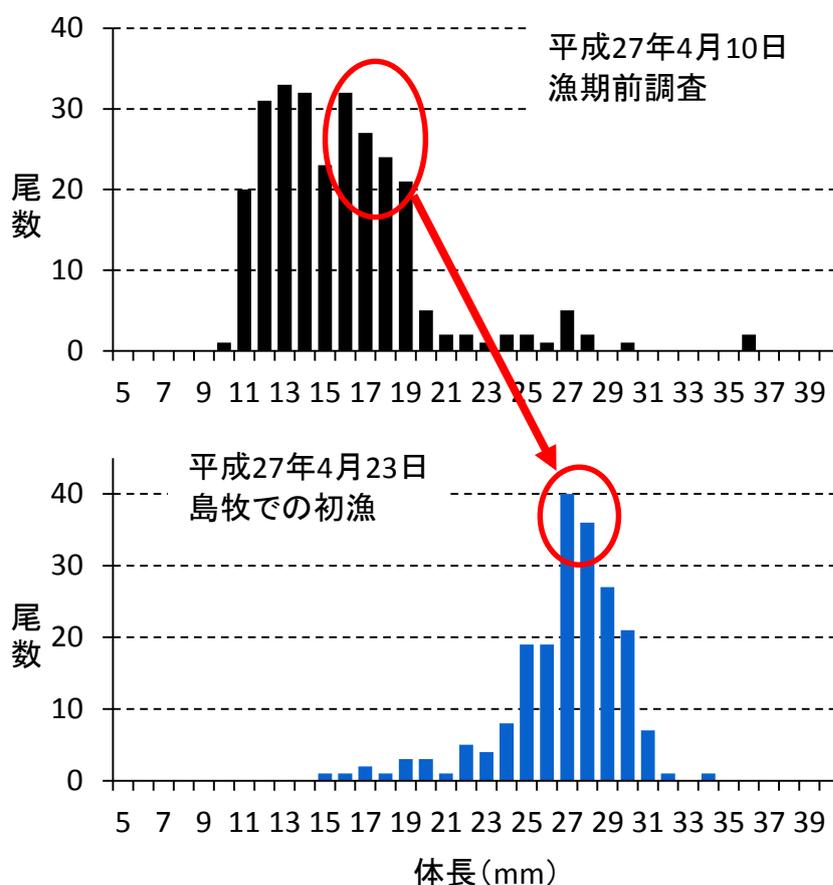


図 漁期前調査（上）と初漁（下）の体長組成